

ステップアップ事業評価シート

団体名 NPO法人 働く仲間・種s

	項目	評価	評点
1	目的の達成度	事業1では、障害のある人の受け入れ体制を考える良い機会となり、事業2ではちらし配布を通じて、大勢の方にたねずの活動目的を知っていただくよい機会となった。さらにプロの料理にんの方と打ち合わせ、講演を通じて有意義なお話をたくさんうかがうことができた。事業3では、先駆的立場の人の話は興味深く、準備から開店後までたくさん教えていただくことがあった。事業4ではよりよい食材を求めて、県南部の直売所などをまわることができた。また、和風から洋風までだしの研究をすることができた。	5
2	地域への貢献度	事業1は、さいたま市内の養護学校、特殊学級を中心に手作りのちらしを使いよびかけ、参加者を募った。事業2は、会員の住む地域を中心に、ご協力いただいたレストランや、県内の障害に関わる団体にちらし配布を行った。事業3では、敢えて県外の先駆的な施設をまわることにより、県内の様子と比較することができた。事業4では東京築地市場、埼玉県特別栽培農産物販売店や浦和、大宮の総合物流センターの野菜、食肉を食材として購入することができた。	4
3	事業の継続性	カフェ開店の日まで、一年あまりとなり、課題がみえてきた。料飲店の成功の鍵は、立地、働く人、味である。当然であるが、さらに調理研究を重ねたい。障害者雇用する立場から、カフェで働き続けるためのいろいろな工夫をしたい。この機会に購入できた備品は、カフェでも活用させていただく。また、障害のある人の雇用に先駆的役割を果たして来た人の話はたいへん参考になり、本事業のニーズを客観的に確認できた。リサーチ先からは、今後もよいアドバイスをいただけそうである。	5
4	費用対効果	開店に必要な備品を購入でき、たいへん感謝している。予算よりもだいぶ少ない実行額となってしまう、見積りのむずかしさを感じた。必要な経費(例えば、ちらし発送のための郵送費など。)を計上していなかったことが残念だった。印刷は、フルカラーで見積してもらったが、写真などの必要性がなかったため、単色のちらしとした。また、事業1が8月初めの実施だったので、7月中の出費を助成金として申請できなかった。今後は実施日にも注意したい。備品も2万円以上のものを知ってからは、総額の20%を超える心配がなくなり、総額が減ったことで、自己資金も減った。たねずとしては、結果は全て満足のいくものだったが、助成金を使いきることができなかったことは、おおいに反省している。	4
5	総合評価	法人設立後初めて、地域への広報を意図とした助成事業を行った。今回の事業で、大きく人の輪が広がったと実感した。「障害者の雇用を広げよう、自立をめざそう」という熱い気持ちがりサーチしたすべての職場のオーナーから感じられた。さまざまな分野の専門家にお会いすることができた。備品購入、食材購入、調理研究ばかりが事業の成果ではなく、多くの人に出会い、たねずの理念を理解していただき、応援してくださると実感できたことも大きな収穫であった。障害のある方と一緒に働くスープカフェを開店するという目標にますます意欲がわいてきた。	5

- 事業1 みんなでクッキングパート1
- 事業2 みんなでクッキングスペシャル
- 事業3 職場リサーチ
- 事業4 食材リサーチ